

1. 取扱説明書

取扱説明	NR-705BFDPC-H NR-705BFDPC-M
	110492010842 110492010844
	01

ガスバランス型ふろがま 取扱説明書 保証書付

品名	機器コード	型式名
NR-705BFDPC-H	11-049-20-10842	GUQ-5D
NR-705BFDPC-M	11-049-20-10844	GUQ-5D

もくじ

必ずお守りください(安全上の注意).....	2
各部のなまえとはたらき.....	8
おふろを沸かす・追いだきする	9
シャワー・あがり湯を使う.....	11
シャワー・あがり湯の温度を調節する.....	13
凍結による破損を予防する.....	14
日常の点検・お手入れのしかた.....	16
法定点検について.....	18
故障・異常かな?と思ったら.....	20
アフターサービスについて.....	22
主な仕様.....	23
保証書.....	裏表紙



このたびはガスバランス型ふろがまをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
 *この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。
 *保証書(裏表紙)は必ずお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめてください。
 *この取扱説明書(保証書付)はいつでもご覧になれるところに保管してください。



SBA8622

保証書

品名	ガスバランス型ふろがま NR-705BFDPC-H NR-705BFDPC-M
型式名	GUQ-5D

上記本体をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は、東京ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

- 保証期間は、お買い上げの日から2年間とし、本体を対象にします。なお、下記部品については、別途以下の年数を保証いたします。
 電装基板.....3年
 熱交換器.....3年
- 万一故障の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお申し出ください。原則として、出張修理いたします。
- サービス員がお伺いした時に、本証書をご提示下さい。
- 保証期間内においても、次の場合は有償修理といたします。
 (1) 住宅用途以外でご使用になる場合の不具合
 (2) 取扱説明書等の記載事項によらないでご使用した場合の不具合
 (3) 器具を調整、改造された場合の不具合(但し、当社都合の場合はのぞきます)
 (4) お買い上げ後、取付場所の移動、落下等による不具合
 (5) 建築躯体の変形等器具本体以外に起因する当該器具の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
 (6) 強い腐食性の空気環境に起因する不具合
 (7) 犬、猫、ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
 (8) 火災や凍結、落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天変地異または戦争、暴動等の破壊行為による不具合
 (9) 電気、給水の供給トラブル等に起因する不具合
 (10) 指定規格以外のガス、電気または熱媒等をご使用したことにより起因する不具合
 (11) 給水・給湯配管などの錆び等異物流入に起因する不具合
 (12) 温泉水、井戸水等を給水したことに起因する不具合
 (13) 本保証書を紛失された場合
- 無料修理やアフターサービス等についてご不明な場合はお買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお問い合わせ下さい。

保証履行者	東京ガス株式会社	〒105-8527 東京都港区海岸1丁目5番20号
保証責任者	株式会社リリツ	〒650-0033 神戸市中央区江戸町93番地

■お買い上げ日および販売店名

お買い上げ日	平成 年 月 日
販売店	取扱者
住所	印
電話番号	

■修理記録

この本体の修理記録用紙は、本体の内側にあります。

■お客さまへ

- この保証書をお受け取りになる時に販売年月日、販売店、取扱者が記入してあることを確認してください。
- 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
- 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては「アフターサービス」の項をご覧ください。
- この保証書によって保証書を発行している者(保証履行者・保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

◆この取扱説明書は再生紙を使用しています◆

必ずお守りください(安全上の注意)-1

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

危険

ガス漏れに気づいたときは、

1. すぐに使用をやめる
2. ガス栓を閉める
また、メーターの
ガス栓も閉める
3. 窓や戸を開ける
4. 販売店または、もよりの
東京ガスに連絡する



必ずおこなう

ガス漏れ時は、絶対に

- ・火をつけない
- ・電気器具のスイッチの入・切をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺の電話も使用しない



火気禁止

火や火花で引火し、
火災の原因になります。



給気筒・排気筒・給排気筒トップが外れたり、穴があいたり、詰まった状態で使用しない

排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因になります。



禁止

- ・口火が点火しないときや、途中で消えたとき
- ・本火着火しないとき
- ・器具栓つまみを戻しすぎて口火を消してしまったとき



必ずおこなう

このようなときは、

1. 器具栓つまみを「0」に戻す
2. 5分以上待って、電池確認ランプが消灯していることを確認してから点火操作をする
(電池確認ランプが点滅している間は使用できません)

すぐに点火すると機器内に残ったガスに異常着火し、大きな音がして機器が変形することがあります。変形によるすき間ができたときは、使用をやめ修理を依頼してください。そのまま使用すると排気ガスが漏れて一酸化炭素中毒の原因になります。口火点火から本火着火のときに、3秒以上たっても本火着火しなかったり、口火点火のときに点火しにくかったりすることがたびたび発生する場合は、修理が必要です。ので、販売店または、もよりの東京ガスに連絡してください。

警告

やけど予防のため、以下のことに気をつける



高温注意

入浴前には、充分お湯をかきまぜる

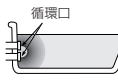
おふる沸かし中や沸かしたあとは、浴槽のお湯の温度が上部と下部では、相当の温度差があります。



浴槽の湯温を手で確認してから入浴する



おふるを沸かしているときは、循環口付近が熱くなるので手や体を近づけない



シャワーなどお湯の使用時は、手で湯温を確認してから使用する



シャワーなどお湯を使用中に、トイレの水を流すなど大量の水を使用すると、水道の水圧が下がり、熱いお湯が出る場合があるので注意する

シャワー・あがり湯を止めると、機器の底部から熱いお湯が出るので注意する

シャワーホースを折り曲げるなど変形させて使用しない

お湯の量が少なくなるため、熱いお湯が出る場合があります。

長時間の追いだしや長時間口火をつけたままにしたあとにお湯を使うと、熱いお湯が出る場合があるので注意する

お湯が体にあたらないよう充分に注意してください。

以下の場合にも熱いお湯が出る場合があるので注意する

- ・お湯をいったん止めて再度使用する場合
- ・高温のお湯を使った直後
- ・湯量を急に少なくした場合
- ・夏場など水温の高いときにお湯を少しだけ使おうとした場合

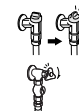
地震、火災などの緊急の場合は、次の手順に従う



必ずおこなう

1. 器具栓つまみを「0」にする

2. ガス栓を閉める



3. 給水元栓を開める



点火しない場合または、使用中に異常な臭気、異音、異常な温度を感じた場合や、使用中で消火する場合は、ただちに使用を中止しガス栓を開める

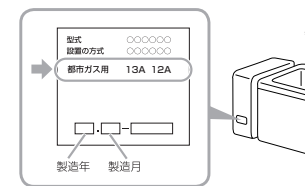
使用中に異常があった場合は、「故障・異常かな?」と思ったら」(P20~21)に従い処置をする

上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止し、販売店または、もよりの東京ガスに連絡する

必ず銘板に表示のガスで使用する



必ずおこなう



表示のガス種が一致しないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発点火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は、必ずガスの種類が一致しているかどうか確認してください。わからない場合は、販売店または、もよりの東京ガスに連絡してください。

浴槽の循環口をタオルなどでふさがない穴に物を詰めない



禁止

循環口をふさいでお風呂を沸かすと、機器内のお湯が沸騰してやけどをするおそれがあります。



(つづく)

必ずお守りください(安全上の注意)-2

(つづき)

警告

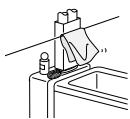
使用中や使用直後は、排気筒・給排気筒
トップ付近に触らない



接触禁止

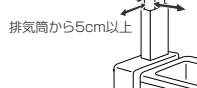
また、機器外装や出湯管などの高温部は触らない
やけど予防のため。

燃えやすい物をまわりに置かない
(シャンプー、タオル、ブラシなど)
火災の原因になります。



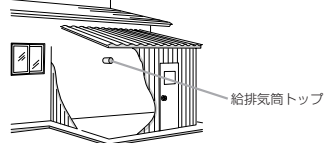
禁止

排気筒から燃えやすい物を離す
(シャンプー、タオル、ブラシなど)
火災予防のため。



必ずおこなう

増改築などで屋内状態にしない
(波板囲いなどをしない)



禁止

一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時など
に給排気筒トップが養生シートで覆われ
た場合は、機器を使用しない



禁止

不完全燃焼や一酸化炭素中毒、爆発着火の原因になります。

使用するときは浴室の窓を開める

給排気筒トップから出た排気ガスが浴室の窓
など開口部から室内に流入し、一酸化炭素中
毒の原因になります。



必ずおこなう

循環口近くでお湯の中にもぐらない

髪の毛が引っかかるなど思わぬ事故の原因に
なります。



禁止

子供だけで入浴させない
子供を浴室内で遊ばせない

思わぬ事故の原因になります。



禁止

つまみはマークに合わせて使用する

各つまみはマーク以外の位置で使用する
と、水圧の変化によって熱いお湯が出る
ことがあります。また、異常着火して大
きな音がしたり、機器が変形することが
あります。変形によるすき間ができた
ときは、使用をやめ修理を依頼してく
ださい。そのまま使用すると排気ガス
が漏れて一酸化炭素中毒の原因になり
ます。



必ずおこなう

シャワーなどお湯の使用時は、使用者以
外、湯温調節つまみ・能力切換つまみは
触らない

やけど予防のため。
子供のいるご家庭では特に注意してく
ださい。



禁止

屋外に設置しない

雨水が浸入したり、炎が風にあおられ
たりして、故障や火災の原因になりま
す。



禁止

機器本体やガスの接続金具・強化ガスホ
ースなどに乗ったりして、無理な力を加
えない
ケガや、機器の変形によるガス漏れ、不
完全燃焼の原因になります。



禁止

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを、
機器本体や給排気筒トップのまわりに置
かない、使用しない



禁止

熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレ
ー缶が爆発する原因になります。

灯油、ガソリン、ベンジンなど、引火の
おそれのある物を機器本体や給排気筒ト
ップのまわりで使用しない



禁止

火災の原因になります。

ガス配管接続工事には専門の資格、技術
が必要のため、機器の設置・移動・取り
外しおよび付帯工事は、販売店または、
もよりの東京ガスに依頼する

安全に使用していただくため。



必ずおこなう

お客さまご自身では絶対に分解したり、修
理・改造はおこなわない

思わぬ事故や故障の原因になります。



分解禁止

強化ガスホースを、折れたりねじれた状
態にしない、機器の下に通さない

ガス漏れの原因になります。



禁止

強化ガスホースがひび割れたり接続部が
ゆるくなった場合は、販売店または、も
よりの東京ガスに連絡する



必ずおこなう

お出かけやおやすみ時は、必ず消火し、ガ
ス栓を閉める

火災の原因になります。



必ずおこなう

機器から水漏れはないか確認する

思わぬ事故を予防するため。
お隣や階下にも多大な迷惑をかけます。



必ずおこなう

太陽熱温水器とは絶対に接続しない

お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機
器の故障の原因になります。



禁止

排水口はこまめに掃除する

排水口がつまると、機器内に水が入って
不完全燃焼の原因になります。また、冠
水検知装置がはたらくと使用できなくな
ります。その場合は、修理が必要です
ので販売店または、もよりの東京ガス
に連絡してください。



必ずおこなう



お風呂を沸かしすぎたときは、浴槽のお
湯が沸騰して蒸気が噴き出すことがある
ので、浴室へ入るときや浴槽のふたを開
けるときは注意する



高温注意

やけど予防のため。

お風呂を沸かしすぎたときは、浴槽のお
湯が熱い間は絶対にお湯に手や体を入れ
ない



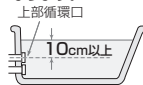
高温注意

やけど予防のため。

注意

お風呂を沸かすときは、上部循環口セン
ターより10cm以上、お湯(水)が入っ
ているか確認する

空だきによる火災の原因になります。



必ずおこなう

給排気筒トップに指や棒を入れない

故障やケガの原因となります。



禁止

浴槽のふたの上に乗ったり、手をついたり
しない

浴槽のふたは蒸気でやわらかくなることがあ
ります。おぼれたり、やけどの原因になりま
す。子供のいるご家庭では特に注意してく
ださい。



高温注意

ホースを接続しての給湯使用禁止

出湯管(あがり湯)の先にホースなどを接続し
てお湯を使用しないでください。また、給湯配
管して給湯栓をつけないでください。
お湯が絞られて熱湯が出たり、給湯栓を閉め
ても燃焼し続けるなど、やけどの原因になり
ます。



禁止

子供を機器の周囲で遊ばせない

思わぬ事故の原因になります。



禁止

給湯、シャワー、お風呂以外の用途には使
用しない

思わぬ事故を予防するため。



禁止

点火確認窓を外したまま点火操作をしない

一酸化炭素中毒の原因になります。



禁止

(つづき)

必ずお守りください(安全上の注意)-3

(つづき)

⚠️注意

機器の点検・お手入れ・水抜きをする場合、口火消火を確認し、機器が冷えてからおこなう



やけど予防のため。
機器の使用直後は、機器内のお湯や排気筒のまわりが高温になっています。

機器を使用中(燃焼中)は、ガス栓での消火はしない



異常着火の原因になります。

乾電池に関する注意(取り替え機器についてお願い)

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。
もしお客さまで旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

🙏お願い

機器に法定のラベルが貼付されていることを確認する

「特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律」の対象であり、法定資格を有する者以外、設置・移設できません。

硫黄(イオウ)を含んだ入浴剤は使用しない

入浴剤・ふろがま洗剤・洗剤などを使用するときは、注意書きをよく読み、正しく使用する

入浴剤・ふろがま洗剤の種類によっては、機器の熱交換器を腐食させる原因になるものがあります。
これらを使用してお風呂を沸かしたときに、異常音が出たり、お風呂沸かしができなくなる場合は、使用をやめてください。
ふろがま洗剤の使用に際しては、注意書きをよく読み、正しく使用してください。

塩素系のカビ洗剤、塩が機器や強化ガスホースなどにかかった場合は、すぐに水洗いする

機器や強化ガスホースの変質や変色の原因となります。

温泉水、井戸水、地下水で使わない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。
この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

機器や配管に長時間たった水や、朝一番のお湯は飲まない

雑用水として使用してください。

**排気ガスが直接建物の外壁・窓・アルミサッシなどや、物置などの塗装品などに当たらないように設置する
増改築時も同様に注意する**

ガラスが割れたり、変色したり、塗装がはがれたりする原因になります。

塀などを増設する場合は、機器の点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する

塀などと給排気筒トップとの間に十分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。
また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。
(機器の修理・点検に必要な空間については、販売店または、もよりの東京ガスに確認してください)

業務用の用途では使用しない

この製品は家庭用ですので、業務用の用途で使用するると製品の寿命を著しく短めます。この場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

浴槽はこまめに掃除する

湯あかが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

機器に故意に水をかけない

水が内部に入り、故障の原因になります。

つまみの部分になるべく湯・水がかからないようにする

水が内部に入り、故障の原因になります。

機器の上にヘアピン、カミソリなどの金属製の物を置かない

機器がさび、穴あきなどの原因になります。

**シャワーヘッドは、浴槽や洗面器の水の中に入れない
逆流予防のため。**

浴室に洗濯機などの排水をする場合は、排水が直接機器にかからないように注意する

機器がさび、思わぬ事故の原因になります。

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

**使用時の点火、使用後の消火を確認する
使用中も正常に燃焼しているか確認する**

ガス事故防止のため。

機器から使用中および使用後に「ポコン」と音がすることがあります

これは機器外装が熱で膨張・収縮するためにおこる現象で、故障ではありません。

断水時は器具栓つまみを「O」にし、給水元栓を開める

給水元栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。

断水復帰後の使い始めのお湯は飲まない

断水したときは飲用に適さない水が配管にとどまることがあります。

断水復帰後は、出湯管(あがり湯)から充分水を流してから使用する

積雪時には給排気筒トップの点検、除雪をする

雪により給排気筒トップがふさがれると不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

凍結による破損を予防する(☞P14～15)

暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な処置をしてください。
凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

長期間使用しない場合、必要な処置をする(☞P14)

凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

は
ま
ず
こ

取 扱 説 明

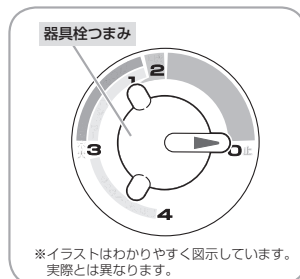
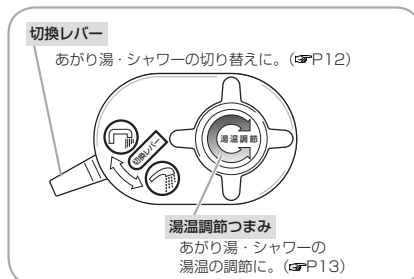
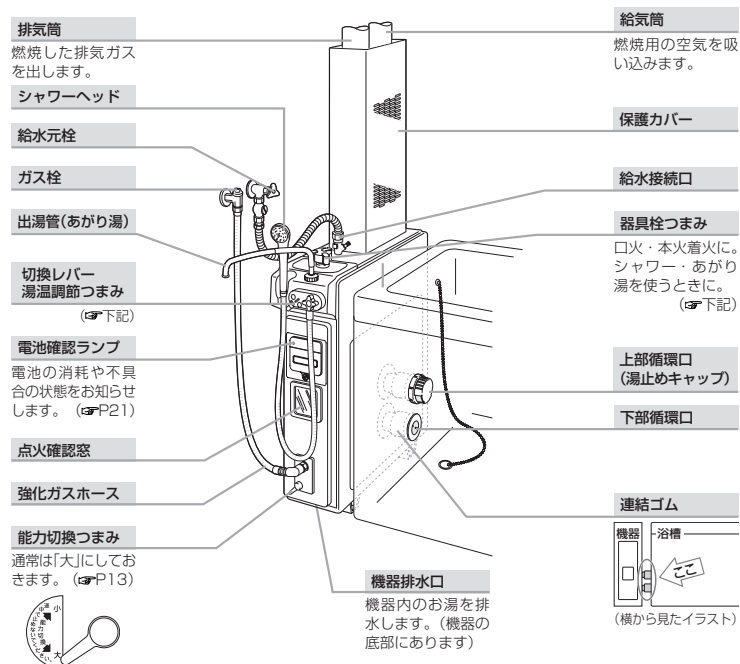
NR-705BFDP-C-H
NR-705BFDP-C-M

110492010842
110492010844

0 1

各部のなまえとはたらき

イラストは施工例です。配管の形状、給水元栓・ガス栓の位置など実際と異なります。



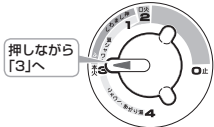
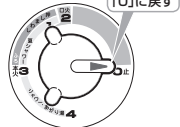
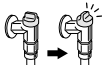
電池を長持ちさせるために……15分以上使用しない場合は、口火を消火してください

お風呂を沸かす・追いだきする-1

操作	お知らせ
準備 - 電池確認ランプが点灯していないことを確認する(☞P8) - 浴槽の排水栓を閉める(しっかり差し込む) - 浴槽の上部循環口センターより10cm以上 水(お湯)が入っているか確認する - 能力切換つまみが「大」の位置になっているか確認する - 器具栓つまみが「0」の位置にあることを確認する - ガス栓を全開にする	上部循環口 10cm以上 *能力切換つまみが「小」になっていると、お風呂の沸き上がり時間が遅くなったり、お風呂沸かしが途中で止まったりします。
● 口火を点火する 器具栓つまみを「0」から「1」へ止まるまで回す	「1」へ(手ははなさない) *ゆっくりと確実におこない、すぐには手をはなさないでください。
「1」の位置で器具栓つまみを持ったまま20秒くらい待ち、点火確認窓で点火を確認して「2」に戻す	「2」に戻す *「2」から「0」の間になると口火が消えることがあります。 *口火が消えた場合は、5分以上待ってから電池確認ランプが点灯していることを確認し、再度点火操作をおこなってください。 *電池確認ランプが点滅している間は再点火できません。この間に点火操作をくりかえすと再点火できるまでの時間が延長されます。
*初めて使用するときは、ガスの配管などに空気がたまっているため、1回で点火しない場合があります。その場合はもう一度口火の点火操作をくりかえしてください。	

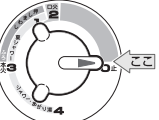
まず
はじめに
使いた

お風呂を沸かす・追いだきする-2

警告	 - 入浴前には、充分お湯をかきまぜる - 浴槽の湯温を手で確認してから入浴する - お風呂を沸かしているときは、循環口付近が熱くなるので手や体を近づけない	 使用中や使用直後は、機器外装などの高温部は触らない
やけど予防のため。		
注意	 お風呂を沸かすときは、上部循環口センターより10cm以上、お湯(水)が入っているか確認する	
空だきによる火災の原因になります。		
(つづき)		
操作		お知らせ
● お風呂を沸かす・追いだきする		
1 器具栓つまみを押しながら「2」から「3」へ回す 【本火着火】	 押しながら「3」へ * 着火します。 * 押し回さないと、シャワー・あがり湯になります。 * 本火着火しない場合は、器具栓つまみを「0」に戻し、5分以上待ってから再度P9「口火を点火する」よりやり直してください。	
2 適温になったら、器具栓つまみを「2」に戻す 【本火消火】	 「2」に戻す * 口火のついています。	
● 使い終わったら		
1 器具栓つまみを「0」に戻す 【口火消火】	 「0」に戻す * 15分以上使用しない場合は、電池を長持ちさせるため、口火を消火してください。	
2 ガス栓を閉める		

* お風呂沸かしの始めに機器底部より湯気が出たり、お湯が排水したりする場合があります。
 * 器具栓つまみは「0」「1」「2」「3」のいずれかの位置に合わせてください。(多少ずれることがあります)が問題ありません。ただし、中間の位置では止めないでください)
 * 使用中、不快なおいがする、炎に異常がある、点火しにくいなどの場合は、ガス栓を閉め、販売店または、もよりの東京ガスまでご連絡ください。
 * 入浴剤を使用するときの注意 (P6)

シャワー・あがり湯を使う-1

操作		お知らせ
準備		
1. 給水元栓が全開になっていることを確認する		* 浴槽に水(お湯)がなくても、シャワー・あがり湯を使用できます。
2. 能力切替つまみが「大」の位置になっているか確認する		
3. 器具栓つまみが「0」の位置にあることを確認する		
4. ガス栓を全開にする		
● 口火を点火する		
1 器具栓つまみを「0」から「1」へ止まるまで回す	 「1」へ(手ははなさない)	* ゆっくりと確実におこない、すぐには手をはなさないでください。
2 「1」の位置で器具栓つまみを持ったまま20秒くらい待ち、点火確認窓で点火を確認して「2」に戻す	 「2」に戻す	* 「2」から「0」の間になると口火が消えることがあります。 * 口火が消えた場合は、5分以上待ってから電池確認ランプが点灯していることを確認し、再度点火操作をおこなってください。 * 電池確認ランプが点滅している間は再点火できません。この間に点火操作をくりかえすと再点火できるまでの時間が延長されます。

(つづく)

* 初めて使用するときは、ガスの配管などに空気がたまっているため、1回で点火しない場合があります。その場合はもう一度口火の点火操作をくりかえしてください。

シャワー・あがり湯を使う-2

警告	 ・シャワーなどお湯の使用時は、手で湯温を確認してから使用する ・シャワーなどお湯を使用時は、使用者以外、湯温調節つまみ・能力切替つまみは触らない ・シャワーなどお湯を使用中に、トイレの水を流すなど大量の水を使用すると、水道の水圧が下がり、熱いお湯が出る場合があるので注意する
警告	 使用中や使用直後は、機器外装や出湯管などの高温部は触らない

やけど予防のため。子供のいるご家庭では特に注意してください。

(つづき)

操作	お知らせ
----	------

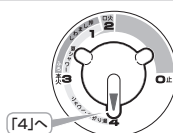
● シャワー・あがり湯を切り替える

切換レバーで切り替える



● お湯を出す

器具栓つまみを「2」から「4」へ回す



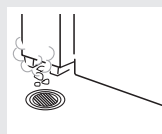
＊本火着火して、お湯が出ます。
＊本火着火しない場合は、器具栓つまみを「0」に戻し、5分以上待ってから再度P11「口火を点火する」よりやり直してください。

● お湯を止める

器具栓つまみを「2」に戻す



＊シャワー・あがり湯を止めると、機器の底部から自動的に排水します。



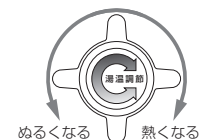
＊口火のみついています。

＊器具栓つまみは「0」「1」「2」「3」「4」のいずれかの位置に合わせてください。(多少ずれることがありますが無問題ありません。ただし、中間の位置では止めないでください)
＊浴槽にお湯(水)がある状態でシャワー・あがり湯を使うと、循環口から熱いお湯が出るのでご注意ください。
＊浴槽にお湯(水)がない状態でシャワー・あがり湯を使うと、循環口から湯気が出たり循環口が熱くなったりすることがありますが、異常ではありません。

操作	お知らせ
----	------

● シャワー・あがり湯の温度を調節する

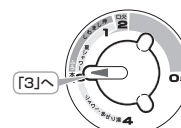
湯温調節つまみを回して調節する



＊右へ回すと(熱くすると)お湯の量が少なくなります。

● 夏場など、湯温調節つまみで調節してもなお熱いときは

器具栓つまみを「3」にする



それでも熱い場合は、能力切替つまみを「小」にする

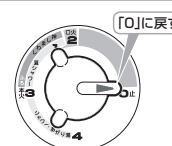


＊能力切替つまみは途中で止めないでください。
＊使用後は、「大」に戻してください。
「小」のまま使用するとおふろの沸き上がり時間が遅くなったり、おふろ沸かしが途中で止まったりします。

使いかた

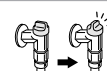
● 使い終わったら

1 器具栓つまみを「0」に戻す
【口火消火】



＊15分以上使用しない場合は、電池を長持ちさせるため、口火を消火してください。

2 ガス栓を閉める



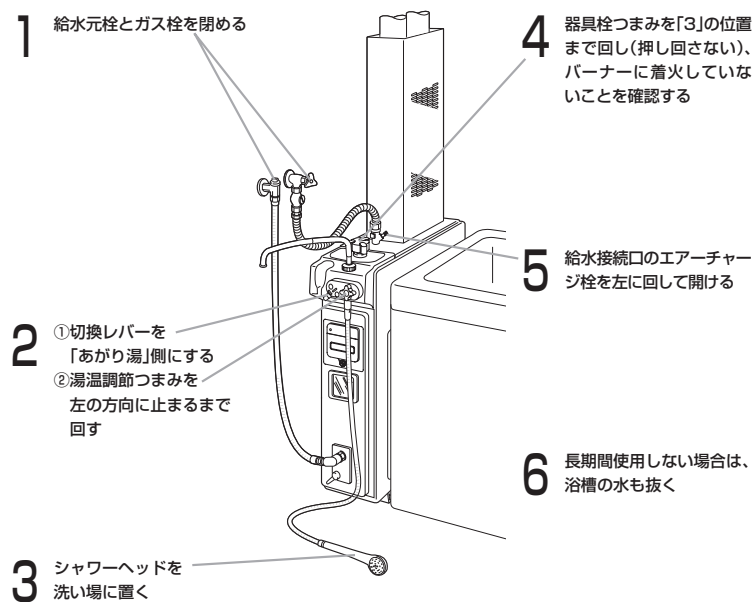
凍結による破損を予防する

冬期、冷え込みが厳しく凍結するおそれのある日、または不在などで長期間使用しないときは、次の要領で水抜きをしてください。

お願い	凍結による破損を予防する
* 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。	
* 凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。	

水抜きのしかた

△注意	！	機器の水抜きをする場合、口火消火を確認し、機器が冷えてからおこなう
やけど予防のため。 機器の使用直後は、機器内のお湯や排気筒のまわりが高温になっています。		



水抜き後の再使用のとき

1. シャワーヘッドを元に戻す。
2. 給水接続口のエアチャージ栓を右に回して閉める。
3. 器具栓つまみを「0」の位置まで戻す。
4. 給水元栓を全開にし、出湯管を浴槽に向ける。
5. 器具栓つまみを「3」か「4」まで回す。(水が出ます)
6. 水が出ることを確認したら、器具栓つまみを「0」に戻す。
7. ガス栓を全開にする。

* 水抜き後、初めて使用するときは、ガスの配管などに空気がたまっているため、1回で点火しない場合があります。その場合はもう一度口火の点火操作をくりかえしてください。(P9)

凍結した場合

凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。機器の故障の原因となります。出湯管やシャワーから水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ使用してください。凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

必要なとき

日常の点検・お手入れのしかた



機器の点検・お手入れをする場合、口火消火を確認し、機器が冷えてからおこなう

やけど予防のため。
機器の使用直後は、機器内のお湯や排気筒のまわりが高温になっています。

点検(定期的に)

チェック 給排気筒トップがほこりなどでふさがっているか？

➡ ふさがっている場合は、掃除する。

チェック 給排気筒トップにススがついていないか？

➡ ついていたら、販売店または、もよりの東京ガスへ連絡する。

チェック 機器や排気筒のまわりにシャンプー・タオル・ブラシなど、燃えやすい物を置いていないか？

➡ 燃えやすい物を置かない。

チェック *強化ガスホースが、折れたりねじれたりしていないか？機器の下に通っていないか？
*強化ガスホースが、ひび割れたり接続部がゆるんだりしていないか？
*強化ガスホースが、古くなってないか？

➡ 異常があったら早めに交換してください。(販売店にご相談ください)

チェック *機器外装に異常な変色や変形はないか？
*機器外装の下部周辺などにサビや穴開きはないか？
*運転中に機器から異常音が聞こえないか？
*機器・配管・連結ゴムから水漏れはないか？

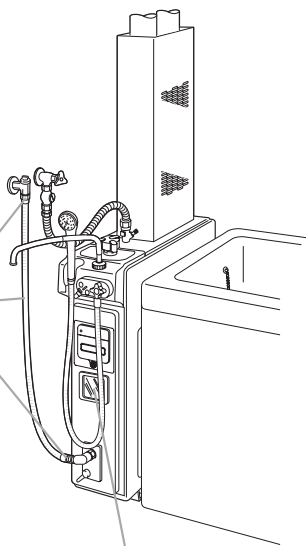
➡ 現象があった場合は、販売店または、もよりの東京ガスへ連絡する。

チェック 機器本体が傾いていないか？

➡ 現象があった場合は、販売店または、もよりの東京ガスへ連絡する。

チェック 給気筒・排気筒・給排気筒トップが外れたり、穴が開いたり、詰まったりしていないか？

➡ 現象があった場合は、販売店または、もよりの東京ガスへ連絡する。



チェック 点火確認窓が汚れてくもっていないか？

➡ 汚れている場合は、表面を掃除する。

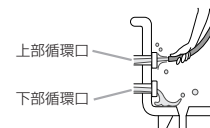
● 定期点検のすすめ(有料) ●

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。販売店にご相談ください。

お手入れ(こまめに掃除)

● 機器内部 ●

1. 上部循環口の湯止めキャップを外す。
2. 循環口へ水道からのホースを近づけ、先をつまんで勢いよく水を出す。
3. 上部循環口、下部循環口と交互に水洗いして、機器内部をきれいにする。
4. 上部循環口に湯止めキャップを元どりに付ける。



* 雑菌などが気になる場合は、市販のふろがま洗剤(2つ穴用)をお試しください。(ふろがま洗剤の説明書に従って正しく洗浄してください)

● 機器本体 ●

* お手入れの際は、手袋などで手を保護するなどケガをしないように気付けてください。
* 使用後、乾いた布で本体外装についた水分をふき取ってください。(タワシやブラシなどでこすらないでください)
* 点火確認窓は、炎がよく見えるようにときどきふいてください。
* 海に近く潮風が当たりやすい地域の場合、潮風によって、給排気筒トップにサビが発生する場合があります。サビがひどい場合は、機器本体内部への影響も考えられますので、点検(有料)をおすすめします。
* 万一サビが浮き出た場合は、乾いた布でふき取ってください。そのまま放置するとサビが進行しますのでご注意ください。

● 浴室 ●

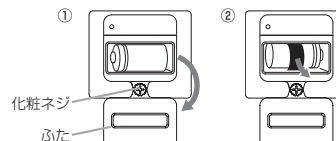
* 浴室は湿気が多いので、使用後は必ず窓などを開け、換気をよくしてください。
* 浴室の排水口をよく掃除して、排水が充分おこなえるようにし、本体の底部が水に浸からないようにしてください。

お手入れ(電池交換のしかた)

電池確認ランプが点灯したら電池の寿命ですので、早めに交換してください。

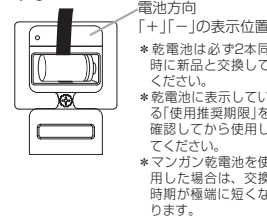
1 【乾電池を外す】

- ① 電池ケースの化粧ネジをゆるめ、ふたを下へ回して開ける(化粧ネジは外さないでください)
- ② 手前にある乾電池を取り出し、リボンを手前に引っ張りながら奥にある乾電池を取り出す



2 【乾電池を入れる】

- リボンを上に引っ張りながら、新しい乾電池(アルカリ乾電池単1形)2本を「+」「-」の表示にしたがって正しく入れる



- 3 ふたを元どりの位置に戻し、電池ケース内に水が入らないように化粧ネジをしっかり締める

必要に応じて

取扱説明

NR-705BFDP-C-H
NR-705BFDP-C-M

110492010842
110492010844

01

法定点検について

お買い上げいただいた製品は、消費生活用製品安全法（消安法）の長期使用製品安全点検制度で指定された特定保守製品です。

● 特定保守製品とは ●

「消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化(経年劣化)により安全上支障が生じ、一般消費者の生命又は身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等からみてその適切な保守を促進することが適当なもの(消安法第2条第4項)」として指定された製品です。

● 法定の点検期間になったら点検を受けてください ●

- ・特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、設計標準使用期間に基づいて製品ごとに設定された点検期間中に点検を受けることが、製品の所有者の責務として求められています(消安法第32条の14)。本製品に表示している点検期間になりましたら、必ず点検を受けてください。(点検は有料です)
- ・なお、法定点検の後もご使用を継続する場合には、こまめに点検を受けることが本製品を安全にお使いいただくために必要となりますので、ご注意ください。
- ・法定点検は、その時点で点検基準に適合しているかどうかの確認であって、その後の安全を担保するものではありません。

● 法定の所有者登録をしてください ●

- ・特定保守製品の所有者は、この製品の製造(輸入)事業者が法定の所有者登録をすることが求められています(消安法第32条の8第1項)。
- ・製品に同梱している「所有者票」に記載している《所有者情報の登録方法》に従って、ご登録をお願いします。
- ・ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法および当社規定により適切な安全対策のもとに管理し、法定点検やリコール等の製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

● 登録していただいた所有者情報に変更がありましたらご連絡ください ●

- ・所有者情報に変更があった場合、この製品の製造(輸入)事業者に変更の連絡をすることが求められています(消安法第32条の8第2項)。
- ・引っ越しなどで所有者情報に変更がありましたら、速やかに「所有者票」に記載している《所有者情報の登録方法》に掲げる問合せ連絡先にご連絡ください。
- ・ご連絡いただかない場合、法定点検やリコール等の製品安全に関するお知らせが正しく届かないことがあります。

● 法定の点検通知をいたします ●

- ・法定の所有者登録をいただいた方に、登録情報に基づいて点検期間の開始前に法定の点検通知をいたします(消安法第32条の12)。
- ・点検期間については、製品本体の表示、もしくは製品に同梱している「所有者票(お客さま控え)」をご覧ください。

【本製品の設計標準使用期間について】

本製品は、設計標準使用期間®を10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。
※設計標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理がおこなわれた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです(消安法第32条の3)。
「無料修理保証期間」とは異なるのでご注意ください。(無料修理保証期間は取扱説明書の保証書をご参照願います)

＜設計標準使用期間の算定の根拠＞

本製品の設計標準使用期間は、次のように設定しています。
1) 始期……製造年月
2) 終期……JIS S 2071または、JIS S 2072の「標準使用条件」に基づいて想定した以下の使用条件にて、当社において耐久試験等をおこない、その結果算出された数値等に基づいて、「経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないこと」を確認した時期

■使用条件(給湯)

項目	条件
1. 家族構成	4人世帯
2. 季節	中間期(春・秋)
3. 気温・湿度	20℃・65%
4. 電源電圧	DC3V(単1乾電池2個)
5. 給水温度	15℃
6. 出湯温度	40℃
7. 1日使用量	456リットル
8. 1日使用時間	1時間
9. 1年使用日数	365日

＜ご注意ください＞

使用頻度・使用環境・設置場所が標準的な使用条件と異なる場合、または、業務用等本来の目的以外の方法で使用された場合は、本体に記載の設計標準使用期間よりも短い期間で経年劣化が起きる可能性があります。これに該当するような場合は、下記「長期使用製品安全点検に関する問合せ先」にご連絡ください。

■使用条件(ふろ)

項目	条件
1. 家族構成	4人世帯
2. 季節	中間期(春・秋)
3. 気温・湿度	20℃・65%
4. 給水温度	15℃
5. 沸き上がり温度	40℃
6. 入浴回数	毎日
7. 沸き上がり回数	1回/1日
8. 追いだし回数	3回/1日
9. 浴槽水量	180リットル

● 点検について ●

法定点検は、東京ガスが本点検作業を委託している協力企業の作業員がおこないます。

【点検の内容について】

- ・特定保守製品について、点検期間中に点検基準に従って実施する有料の法定点検です。
- ・点検基準は消安法省令に定められており、製品区分ごとに点検項目・点検内容が定められています。
- ・点検の結果は、点検結果表にてお知らせします。
- ・点検の結果、不適となった場合には可能な限りの選択肢をお知らせします。この場合、整備(修理を含む)をおこなって使用を継続するかどうかはお客さまの判断となります。

【点検の料金について】

点検料金は、お客さまにご負担いただけます。また、点検の結果、整備が必要となった場合は、別途整備費用(有料)が発生いたします。

点検料金は技術料、出張料などを合計した金額となります。

なお、点検料金の設定の基準等や、点検要請に対応する事業所等については、下記のアドレスからご覧いただけます。

<http://home.tokyo-gas.co.jp/>

インターネットで確認できない場合は、下記「長期使用製品安全点検に関する問合せ先」にご連絡ください。

【本製品の点検の結果必要となると見込まれる整備用部品の保有期間】

整備用部品とは、法定点検の結果、不具合が認められた場合に、安全性を確保(回復)させるために必要な部品であり、補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)とは異なります。

(1) 点火・消火装置に関する部品：製造打切後11年

点火プラグ・イグナイター

(2) 水・湯・ガス通路に関する部品：製造打切後11年

パッキン・リング

(3) 安全装置に関する部品：製造打切後11年

ハイリミットスイッチ・温度ヒューズ・フレームロッド・サーモカップル

※補修用性能部品の保有期間はP22をご覧ください。

長期使用製品安全点検に関する問合せ先

東京ガスお客さまセンター

受付時間 月曜日～土曜日(祝日除く)

9:00～19:00

電話番号 03-3344-9199

必要なときに

取扱説明

NR-705BFDP-C-H
NR-705BFDP-C-M

110492010842
110492010844

01

故障・異常かな？と思ったら

	こんなときは	こんなことが考えられます	処置
お湯・シャワー（あがり湯）	口火がつかない	ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断している。 ガス栓が全開になっていない。 最初の操作時は、配管内に空気がたまっています。	もよりの東京ガスに連絡を。 ガス栓を全開に 空気が抜けるまで、しばらく点火操作をくりかえす。
	口火はつくが器具栓つまみをはなすとすぐ消える	電池確認ランプが点滅している状態で、何度も点火操作をくりかえしている。 または、本火着火せず口火も消えた。	5分以上待ってから電池確認ランプが消灯していることを確認し、再度点火する。(㊦P21)
	本火がつかない	器具栓つまみを止まる所まで回していない。 「1」の位置で器具栓つまみをはなすのが早い。	器具栓つまみは「1」の位置（止まる所）まで回し、点火後約20秒そのまま待つ。
	お湯が白く濁って見える	空だきした。	浴槽に上部循環口センサーより10cm以上水を入れ、自然に冷えてから再操作する。
	使用中、突然シャワー・あがり湯が止まって、機器の底部から湯気や熱いお湯が出る	水道の水圧が低くなった場合や、湯温調節つまみを右（熱いほう）いっぱいに戻した場合に、シャワー・あがり湯から熱湯が出るのを防ぐため、自動的にシャワー・あがり湯が止まることがあります。このとき、機器の底部から湯気や熱いお湯が出ます。	下記参照。
おふろ	沸き上がりに時間がかかるおふろ沸かしが途中で止まる	ガス栓が全開になっていない。 強化ガスホースが極端にねじれたり、折れ曲がっている。	ガス栓を全開に。 強化ガスホースのねじれ、折れ曲がりを修正する。
		能力切換つまみが「小」の位置になっている。	通常は「大」の位置にしておく。
	燃焼中、浴槽内をかくはんすると、上部循環口から気泡が出て「ポコン、ポコン」と音がする	本体内にたまっている空気が出ています。	異常ではありません。
	循環口の部分が熱くなる循環口から湯気が出る	浴槽に水（お湯）が入っていない状態で、シャワー・あがり湯を使うと起こる現象です。	異常ではありません。

	こんなときは	こんなことが考えられます	処置
おふろ	浴槽の表面のお湯が熱くなる	浴槽にお湯が入っている状態で、シャワー・あがり湯を長く使うと起こる現象です。	異常ではありません。
機器全般	寒い日に給排気筒トップから白い煙が出る	冬に、はく息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気が白く見えます。	異常ではありません。
	連結ゴムに水滴がついている	おもに夏場、室温と水温の差によって水滴がつく現象で、水漏れではありません。	異常ではありません。
	機器底部からお湯が出る	シャワー・あがり湯を使い終わると、自動的に本体内のお湯が排水されます。	異常ではありません。
	機器から使用中および使用後に「ポコン」と音がする	機器外装が熱で膨張・収縮するためにおこる現象です。	異常ではありません。



機器本体の電池確認ランプをお調べください

不具合が生じたとき、機器前面の電池確認ランプが点滅してお知らせします。下表に応じた処置をしてください。

電池確認ランプ	原因	処置
機器の使用中、点灯し続ける（点灯し続けたあと点灯しなくなった）	電池寿命のため	電池を交換してください。(㊦P17)
1回ずつ点滅する ● ● ● ● ●	機器内に水が浸入したため	販売店または、もよりの東京ガスに連絡してください。
2回ずつ点滅する ●● ●● ●● ●●	使用中に消火したため	ガス栓が全開になっているか確認してください。器具栓つまみを「0」に戻して5分以上待ってから電池確認ランプが消灯していることを確認し、再度点火操作をしてください。
3回ずつ点滅する ●●●● ●●●●	空だきしたため	浴槽に上部循環口センサーより10cm以上水を入れ自然に冷えてから再操作する。それでも機器が使用できない場合は、販売店または、もよりの東京ガスに連絡してください。
4回ずつ点滅する ●●●●● ●●●●●	機器に異常が生じたため	販売店または、もよりの東京ガスに連絡してください。
5回ずつ点滅する ●●●●●● ●●●●●●	シャワー・あがり湯を60分以上またはおふろを長時間連続して使い続けたため	器具栓つまみを「0」に戻して使用してください。
連続して点滅する ●● ●● ●● ●● ●● ●●	長期にわたり、機器を使用したため	販売店または、もよりの東京ガスに連絡してください。点検のご案内をさせていただきます。(機器は使用できます)

● 以下の場合、販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください ●

- * 上記の処置をしてもお電池確認ランプの点滅をくりかえすとき
- * その他、わからないとき

必要なとき

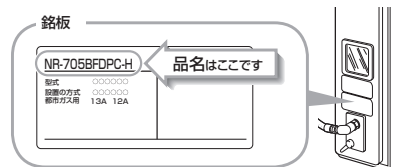
アフターサービスについて

サービスを依頼される時

P20～21の「故障・異常かな?と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください。

● 連絡していただきたい内容 ●

品名 機器正面に貼り付けてある銘板をご覧ください。
 お買い上げ日 保証書をご覧ください
 異常の状況 電池確認ランプの状況 (P21) など、できるだけ詳しく
 ご住所・ご氏名・電話番号
 訪問ご希望日



※作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。
 (工事店にご相談ください)

保証について

取扱説明書の最終ページに保証書がついています。
 必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。
 保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10年です。
 なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設されるときは、機器(銘板)に表示してあるガスの種類が移設先と合っているか必ずご確認ください。

不明のときは、移設先のガス事業者・販売店または、もよりの東京ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設される場合は、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

※ガスの種類によっては改造・調整ができない場合があります。

その他

BL認定品には、機器の正面にBLマークを表示しています。
 BL認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。
 (財)ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

主な仕様

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯量はおよその計算値です。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕 様 表

品 名	NR-705BFDPCH, NR-705BFDPCH-M
型 式 名	GUQ-5D
設 置 方 式	浴室内設置形
点 火 方 式	放電点火式
水 使 用 水 圧 (MPa)	0.1～1.0 (1.0～10.0kgf/cm ²) <推奨水圧約0.15～0.5 (約1.5～5.0kgf/cm ²) >
水 圧 最低作動水圧 (kPa)	49.1 (0.5kgf/cm ²)
外 形 寸 法 (mm)	高さ640×幅170×奥行600
質 量 (本 体) (kg)	20
接 給 水	R1/2
口 径 ガ ス	TU接続 R1/2
電 源	DC3V (単1乾電池2個)
安 全 装 置	立消え安全装置、空だき安全装置、過熱防止装置、熱湯遮断弁、排水栓 (後沸き防止用、過圧防止用)

能 力 表

使 用 ガ ス		1時間当りのガス消費量(最大消費量)〈kW〉	
		最大	ふろ側
都市ガス	13A	13.4	10.5
	12A	12.4	9.83

沸き上がり時間の目安(浴槽水量180L)		
夏(25℃→40℃)	春・秋(15℃→40℃)	冬(5℃→40℃)
約24分	約40分	約56分

シャワー・あがり湯出湯量(能力最大)〈L/分〉		
条件	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
浴槽に湯があるとき(湯温約40℃)	5.0	3.1
浴槽に水(湯)がないとき	5.9	3.7

必要に応じて

取 扱 説 明

NR-705BFDPCH
NR-705BFDPCH-M

110492010842
110492010844

0 1